

「藤沢市DX推進計画」及び 「藤沢市スマートシティ基本方針」の策定について

令和3年6月の総務常任委員会における「本市におけるDX（デジタル・トランスフォーメーション）の取組について」の報告の中で、今後の取組予定として、「藤沢市DX推進計画」及び「藤沢市スマートシティの推進に向けた基本方針」の策定を行うことを報告いたしました。

この度、これらの案を作成いたしましたので報告するものです。

1 藤沢市DX推進計画について

（1）策定趣旨

国においては、各自治体が重点的に取り組むべき事項・内容を具体化した、「自治体DX推進計画」や、情報システムの標準化などの進め方に関する手順等を示した「自治体DX全体手順書」を策定してきました。

本市におきましても、こうした国の動きに沿ってDXの取組を進めていますが、本市の状況や特性を考慮した具体的な取組を計画的に実施していく必要があることから、「藤沢市DX推進計画」を策定するものです。

なお、本計画は「藤沢市官民データ活用推進指針」を兼ねる位置づけとし、本計画と一本化を図ることで一体的、効果的に取組を進めていきます。また、本計画の推進にあたっては、業務の効率化と市民サービスの向上という観点から「藤沢市行財政改革2024基本方針」と連携して取組を進めていくとともに、あわせて、藤沢市SDGs共創指針や藤沢市都市マスタープラン、藤沢市環境基本計画、藤沢市産業振興計画などの関連計画等と整合性を図りながら取組を進めていきます。

（2）藤沢市DX推進計画（案）

資料2のとおり

（3）今後の予定

本計画は市議会常任委員会報告後、令和4年4月に策定する予定です。

策定後は、藤沢市DX推進本部会議において、本計画に基づく取組の推進や進

抄管理を実施していきます。なお、「実行編」については、毎年度、国の動向や本市の取組状況等にあわせてK P I、実績値等を見直し、より実効性のある計画となるよう取り組んでいきます。

2 藤沢市スマートシティ基本方針について

(1) 策定趣旨

近年、多くの自治体においては、まちづくりを進める上で、人口減少、少子超高齢化、自然災害の多発化、激甚化など、さまざまな社会課題に直面しています。これらの直面する課題を解決する手段のひとつとして注目されているのが、新しいテクノロジーや各種データを活用した都市のデジタル化、スマートシティの取組です。

本市においては、全国のスマートシティ開発の先駆けである Fujisawa SST の存在や、さがみロボット産業特区の特性を活かした最先端技術の実証フィールドとしての積み重ねなど、スマートシティに向けた取組を着実に進めてきました。こうした実績を踏まえ、市民目線を大切に、一人ひとりに寄り添ったサービスの提供を通じて、市民生活の質の向上を実感できるスマートシティの実現に向けた取組を進めていくため、本市がめざすスマートシティの基本的な考え方やビジョン、今後の進め方などをとりまとめた基本方針を策定するものです。

(2) 藤沢市スマートシティ基本方針（案）

資料3のとおり

(3) 今後の予定

本方針は市議会常任委員会報告後、令和4年4月に策定する予定です。

策定後は、藤沢市DX推進本部会議において、本方針に基づく取組の推進や進捗管理を実施していきます。また、本市のスマートシティの取組にあたっては、市民が抱える課題を適切に把握することが重要であることから、市民アンケート調査などによるニーズ把握や事業周知、意見交換などを積極的に行い、市民生活の利便性の向上や質の向上につながるスマートシティの実現に向けて取り組んでいきます。

以 上

(企画政策部 デジタル推進室)